

Best Bout!

～印象に残った仕事たち～

★Round1 ▶▶▶DTI vs暗号文書

今世紀屈指の好カード!



私の制作部門では、調査票やアンケートの数値や文字情報の入力、また画像情報の処理(html, ppt, aiデータ等)を専門としています。ご紹介しますと、何だかスマートな仕事のように聞こえますが、実は、日々が一筋縄ではいかない情報との格闘です。

昨年お手伝いした件のなかで印象に残っているのは、ある大学の先生が原稿用紙に鉛筆書きで清書された文章を入力する依頼です。この仕事が印象的だった理由は、先生独特の法則で漢字の一部が略号化されたことにありました。たとえば「権」が「权」、「曜」が「旺」と略記されるのは比較的一般的ですが、大半の漢字がその調子で先生独自の法則で略号とされているのです。

一読、これは判読不明な部分が多いというイヤな予感です。しかし、読み進むと、ほとんどの場合、まったく同じ文字や、もしくはその漢字の一部(旁(つくり)など)が再登場するのです。そうすると、双方の文脈に当てはまる漢字をあこれ想像して当てはめていくこととなります。まるで暗号の解読です。

こうした暗号解読は骨の折れる作業ですが、推測に推測を重ねて頭をひねるので、1文字でも同定できたときは嬉しい限りです。その魅力に駆られて、文章に強い隣接の「テープおこし」部門の者を巻き込んで、ああでもない、こうでもないとながらクイズ大会のようになりました。最終的には先生に納得していただける出来映えになり、ほっとした覚えがあります。なかなか大変でしたが、そういう仕事に限って忘れられないものです。

★Round2 ▶▶▶TTL vsロシア訛りの英語

それは自然科学系の国際シンポジウムでの立会録音のときでした。立会録音では、われわれ立会者は録音をする傍ら、パソコンを持ち込んで、その場で出来る限りのキーワードを入力し、また発言者をメモしています。

シンポジウムはアジア・ヨーロッパ各国の研究者が順番に英語で報告して進み、かなり専門的な内容ながら大変活発に議論が進んでいました。その熱気に促されるように私も快調に入力を進め、報告者のジョークに大笑いする余裕すらありました。

ところが、事件は中盤に起こったのです。それは、ロシアの研究者が、急遽不参加になったお国の同僚に代わって報告した時です。…え?ロシア語…? いいえ、もちろん英語です。でも、完全にロシア語に響くほどの訛りなのです。しかもめっちゃめっちゃ速い。その場のほぼ全員が聞き取れない様子で、それまでザワザワと熱のこもっていた会場も一転水を打ったように静かになり、凍りついてしまったようです。しかも、この報告者、この空気を自分でも察知してしまったようで、顔を真っ赤にして、さながら逃げるかのようにスピードが加速されていきます!

ますい! ほとんど聞き取れない。でも何とかしなくては! そこで思いついたのは、演者のバックに映し出されるパワーポイント資料の文字をとにかく丸写しすることです。しかし、これがまた驚くべき速さでスライドが次々と変わるのです。ほとんどやけそな感じで、20分間、必死で入力を続けました。

シンポジウム終了後、「これは大変なテープおこし作業になるな」と、がっくりうなだれて帰社。ところが、会社で落ち着いてよくよく繰り返して聞いてみると、なんと、ほとんどパワーポイントを代読していることが判明したのです。最終的には予想以上のデータを完成させることができ、本当にほっとしました。ちょっと動揺しましたが、ロシア訛りの英語を学べた、忘れられない立会録音です。

★Round3 ▶▶▶TTL vs外国のマンガオタク

みなさんご存知のように(!?), 日本のマンガはアジアや欧米に発信され、今や世界に誇るコンテンツになっています。この国際的な認知をテコに、マンガは単なる娯楽を超えて、一つの“文化”としての地位を固めつつあるようです。当然のようにマンガに関する講演のテープおこしもちらほら依頼されるようになり、マンガオタクでもある私にとっては嬉しい限りです。

さて、先日、国立系の研究機関がマンガをテーマにして国際シンポジウムを開催しましたが、そのテープおこしのお話。報告者の一人、アメリカ人の先生は文化人類学者という触れ込みですが、かなりのマンガオタクです。日本語が訛っていてあやしい言葉を発しつつも、そんなおこらのオタクでは知らないような指摘が続出。しかし、いかに発音が間違っているにもかかわらず、日本のお家芸に関するわけにはいきません。

格闘すること数刻、Webを覗き直し、関連文書をひっくり返し、何とか先生の報告に体裁をつけることができました。終わってみれば、何だか先生と共同で報告書を完成した気分になり、勝手に太平洋を超えた連帯に思いを馳せたのでした。マンガに国境なし! そういえば、別の外国の先生から披露されたトピックですが、欧米の子どもは日本アニメの登場人物の肌の色にまったくこだわりが無いそうです。人種概念をおぼえるのは、大きくなってからのこと。日頃どうしても閉鎖的な印象がついて回るマンガですが、秘められた世界スケールの可能性に気づかされた仕事になりました。

細見な小路茶屋

～舟がたへななをた「小路茶屋」～

狭い金沢の小路(じょーじ)でひろみちゃんに出会うとほっとする。

と、裏道をよく車で走っている人は言う。ひろみちゃん、往時は100を超えていたそうだが、今は50ぐらい、年が若くなっている。これ、これは金沢市内に在る数。

広見(ひろみ)とは、城下町時代に火事の延焼を防ぐために設けられた、道が少し拡張されたようなスペースである。だから、新しい道や住宅地にはなく、江戸時代から家や寺社があった所にしか残っていない。中でも、大きいのは六斗の広見で、町の盆踊りが開かれたり、団体の集合場所になっている。

一昨年、ここを通る(じ)茶屋・寺町を巡るみちが、美しい日本の歩きたくなるみち50選に選ばれた。このみちを、静音の小路(ぢずねのこみち)と名付けたのは、六斗の広見近くに住む今川酢造の奥さまである。国産米を使い静置発酵法を貫くマルサン酢や手作り梅干しもお勧めしたい。金沢の味だが、今川酢造のHP <http://www.jimakawa.com/>に載っている。居長日記「も」せひ読んでたいね。

〒1事業部 宮本由美子

hed, -peit], n. のろま.
ed, a. 愚鈍な, のろまな.
ad-dress [ədres], n. ① 話しが、演; 演説, 演業. ② 住所, 所番地; あるて先. ③ 応対, 話しぶり. ④ 手ぎわ, 巧妙. ⑤ 愛, くどき. ⑥ 【法】 判事解任要請. ⑦ the A- (イギリス議会の) 勅語答文. funeral ~ 弔辞, opening (closing) ~ 開(閉)会の辞 change of ~ 住所変更, man of good ~ 名譽職あるどれんじやー

ADDRESS VOICES No.34

～生きてるだけで罪なヤツ! 俺の心はフリガード号～

〒921-8147 金沢市大領1-342-3
TEL:076-298-8585(代) FAX:076-298-7665
URL: <http://www.adrs.co.jp/> E-mail: office@adrs.co.jp

編集・発行人/内山 泰正

年末・年始 休業のお知らせ

年末・年始の休業は **12月30日(日)～1月6日(日)** です。
休み中のご連絡はe-mailにて承ります。

office@adrs.co.jp

Merry X'mas & Happy New Year!!

今年もたくさんの『出来事』をありがとうございました

お正月通信

霰が窓をたたき季節になりました。外がうっすらと白くなるさまに「いよいよ」来たなと気が引き締めています。すでに息つく暇もない繁忙期です。

われわれの立ち位置は「自信と謙虚の間」とは言いながらも、ジグザグと闊歩し、日々大きくぶれていた私たちにクレームという形で繁忙期の入口にお客様から確認の声が届きました。ご多分に漏れず言った言わない、聞いた聞いていないを自問自答する当事者。早急に是正を、ご容赦いただきましたが、振り返ってみることを繰り返すと、やはり最初のボタンから掛け違っていることに気がきます。

それは私たちの想像力の欠如がまねくものでしょう。また、立ち位置の問題も大いにあると思います。全員がアドレス岸に立っていたのでは、お客様の言外の期待値には決して答えられはしないでしょう。言われたことが出来るのは当たり前のこと。事前期待の一步先をいきたい私たちですから、もっと想像力を育てながらすいすいと仕事をしていきたいと思っています。

昨年の繁忙期が終わって、新しい仲間を迎えてから半年と少し。自分たちの肥え具合を実感しながら仕事ができているならば、実に楽しい収穫の日々になるのでしょうか。

寒鰯のごとく寒さがわれわれの仕事にアブラをのせて。07年12月はを待ちながら、寒鰯のごとく寒さがわれわれの仕事にアブラをのせていただけることを祈りながら。

代表取締役 中山 雅美

